



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月7日

上場会社名 三洋工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山岸 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 園田 崇之

TEL 03-5611-3451

四半期報告書提出予定日 2024年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	22,759	15.7	1,873	75.8	2,050	64.1	1,499	82.0
2023年3月期第3四半期	19,676	13.7	1,065	87.8	1,249	69.5	823	55.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,595百万円 (90.9%) 2023年3月期第3四半期 835百万円 (55.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	447.16	
2023年3月期第3四半期	243.11	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	30,160	19,550	64.8	5,950.27
2023年3月期	28,679	18,440	64.3	5,486.30

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 19,550百万円 2023年3月期 18,440百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		35.00		50.00	85.00
2024年3月期		40.00			
2024年3月期(予想)				45.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	9.6	2,100	19.6	2,300	15.7	1,800	11.0	539.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	3,520,000 株	2023年3月期	3,520,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	234,275 株	2023年3月期	158,875 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	3,352,748 株	2023年3月期3Q	3,388,325 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月～2023年12月)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限の緩和により個人消費が持ち直し、また、政府の経済支援対策の効果などを受け、企業収益や雇用・所得環境が改善したことから内需を中心とした緩やかな回復基調となりました。一方で、世界的な金融引き締めに伴う海外景気の下振れが国内景気を押し下げるリスクがあるため、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの関連する建築業界につきましては、新設住宅着工戸数は前年度比で減少傾向を示しているものの、建設コストの高止まりの影響と住宅の高付加価値化により、建設投資額では前年度比で増加傾向が見られました。また民間非住宅建設投資については、事務所や店舗などでは減少傾向がみられるものの、製造業の工場や物流業の倉庫スペース拡張などによる設備投資計画が好調に推移しており、建設投資全体では前年度を上回ると予測されています。

こうした経営環境の中で当社グループは、2022年度からスタートした中期3ヵ年経営計画「SANYO VISION 76」の2年目の取組みとして、「経済的価値」と「社会的価値」の両立が図れる持続可能な価値創造グループを目指し、基本経営戦略の継続強化とサステナビリティ経営に全力で邁進してまいりました。具体的には成長戦略商品の拡販や新製品の投入、設計指定活動の強化、見積案件の受注率のアップ、適正な販売価格への見直し及び改定、無人化生産拡大による生産効率アップ及びコスト抑制などの諸施策に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、全体の売上高は22,759百万円(前年同期比15.7%増)となり、利益面におきましては、営業利益1,873百万円(前年同期比75.8%増)、経常利益2,050百万円(前年同期比64.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,499百万円(前年同期比82.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、戸建住宅用製品の受注が増加したことに加え、ビル、商業施設用の一般製品の受注も堅調に推移したことから、軽量壁天井下地全体の売上高は前年同期と比べて大幅に増加いたしました。

床システムにつきましては、主力製品である学校体育館などスポーツ施設用の鋼製床下地材製品やオフィスの改装・改修案件の増加を背景にスチール製OAフロアが伸長したものの、マンションなど集合住宅用の遮音二重床製品が低調に推移したことから、床システム全体の売上高は前年同期と比べ横ばいとなりました。

また、アルミ建材につきましては、外装パネルが減少しましたが、主力製品であるエキスパンションジョイント・カバーや笠木、手摺などが伸長したため、アルミ建材全体の売上高は前年同期と比べて増加いたしました。

この結果、売上高は18,104百万円(前年同期比10.5%増)、セグメント利益1,303百万円(前年同期比41.3%増)となりました。

② システム子会社

当社の子会社であるシステム会社（株式会社三洋工業九州システムほか）につきましては、主力取扱い製品である体育館用鋼製床下地材製品やその他床関連製品を中心に受注量が好調に推移したほか、都市圏における再開発案件の受注獲得も加わり売上高が大幅に伸びました。

この結果、システム会社全体の売上高は5,462百万円（前年同期比43.4%増）、セグメント利益は477百万円（前年同期比903.5%増）となりました。

③ その他

その他につきましては、売上高536百万円（前年同期比12.1%増）、セグメント利益13百万円（前年同期セグメント損失3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、主に受取手形、売掛金及び契約資産等が減少した一方、現金及び預金、電子記録債権等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ1,481百万円増加し30,160百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金、電子記録債務等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ370百万円増加し、10,609百万円となりました。

純資産は、配当金の支出等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,110百万円増加し、純資産合計は19,550百万円となりました。この結果、自己資本比率は64.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を勘案し、2023年11月7日に公表しました2024年3月期の連結業績予想は、昨日(2024年2月6日)発表のとおり修正を行っております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、同日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,480	8,452
受取手形、売掛金及び契約資産	7,948	7,808
電子記録債権	2,101	2,571
商品及び製品	1,550	1,695
仕掛品	146	180
原材料及び貯蔵品	890	839
その他	121	97
貸倒引当金	△10	△1
流動資産合計	20,228	21,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,505	2,428
機械装置及び運搬具（純額）	435	379
土地	2,867	2,843
その他（純額）	253	309
有形固定資産合計	6,062	5,962
無形固定資産		
ソフトウェア	146	130
その他	25	25
無形固定資産合計	171	156
投資その他の資産		
投資有価証券	685	839
繰延税金資産	9	8
退職給付に係る資産	446	504
賃貸不動産（純額）	853	835
その他	233	222
貸倒引当金	△12	△11
投資その他の資産合計	2,216	2,399
固定資産合計	8,450	8,517
資産合計	28,679	30,160

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,217	3,343
電子記録債務	4,030	4,230
短期借入金	665	665
未払法人税等	471	427
賞与引当金	321	242
役員賞与引当金	24	18
その他	743	840
流動負債合計	9,473	9,767
固定負債		
繰延税金負債	239	282
退職給付に係る負債	45	45
その他	480	513
固定負債合計	764	841
負債合計	10,238	10,609
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	15,537	16,734
自己株式	△343	△526
株主資本合計	18,122	19,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297	407
退職給付に係る調整累計額	19	6
その他の包括利益累計額合計	317	413
純資産合計	18,440	19,550
負債純資産合計	28,679	30,160

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	19,676	22,759
売上原価	14,334	16,187
売上総利益	5,342	6,572
販売費及び一般管理費	4,277	4,698
営業利益	1,065	1,873
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	25	28
受取賃貸料	155	138
売電収入	31	33
その他	39	30
営業外収益合計	251	231
営業外費用		
支払利息	1	1
不動産賃貸費用	53	41
売電費用	13	12
その他	0	0
営業外費用合計	68	55
経常利益	1,249	2,050
特別利益		
固定資産売却益	-	190
特別利益合計	-	190
特別損失		
固定資産除却損	5	0
投資有価証券評価損	-	4
特別損失合計	5	5
税金等調整前四半期純利益	1,243	2,235
法人税等	420	736
四半期純利益	823	1,499
親会社株主に帰属する四半期純利益	823	1,499



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	823	1,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	110
退職給付に係る調整額	△7	△13
その他の包括利益合計	12	96
四半期包括利益	835	1,595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	835	1,595
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて記載しております。

(重要な後発事象)

(令和6年能登半島地震の影響について)

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により、当社連結子会社であるスワン商事株式会社の七尾工場において、建物及び生産設備の一部が損壊する被害を受けました。被害を受けた資産の主なものは、建物、機械装置、その他（工具、器具及び備品）であり、損害額は現在調査中です。

なお、当該地震が財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に及ぼす影響については現時点では合理的に算定することは困難であります。固定資産除却損及び復旧等に係る原状回復費用等の発生が見込まれます。